

いのちを守る福祉・
防災都市東京へ!
都政に憲法を!

都民がつくる革新都政

2014年5月15日
発行 = 革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031
ホームページ: http://kakushintosei.org/
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部25円、送料は別途)



建て替え予定の国立競技場を視察する
参加者=2014年4月26日

景観壊さず 2020年東京五輪 代替地・既存施設活用を!

会場予定地を調査 「異議あり」の声続出

「異議あり」続出の開催計画。4・26オリンピック会場調査を4月26日(土)、13団体49人が参加し、建て替えが予定されるメイン会場の国立競技場(新宿区)など5ヶ所を巡る調査バスツアーを実施しました。主催は、2020年オリンピック・パラリンピックを考える都民の会(略称:オリ・パラ都民の会)。

石原慎太郎都知事の突然の立候補表明から始まった民意なき東京オリンピックに巻き込まれていると見られます。その歪みは、東京都が作成した開催計画のなかにさまざまな形で現れています。

既存施設破壊・復帰 新施設計画

国立競技場は、五輪史上最大の大きさが及ぼす景観やコストへの悪影響が問題視されており、景観や周囲施設への影響を調べました。

「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」(共同代表:森まゆみ作家・谷根千工房)の酒井美和子さんは「建て替え案は矛盾だらけ。子孫に負担を押し付けられた」と思っている。霞ヶ丘団地の住民を追い出し、防災拠点にもなる都民の広場の明治公園も潰すということになっています。

1964年東京オリンピックの会場として使われた駒沢オリンピック公園総合運動場を見ました。東京都が策定した候補ファイルの競技施設には、駒沢競技場は見あたりません。駒沢運動場は、いわゆる8ヶ所外(オリンピック申請ファイルで選手村を機軸に競技場をコンパクトに配置する

ける巨大設備を、環境を壊すという理由のもと)というしてまでつくることは反対だ」とのべ、現行施設の改修で費用も周囲への影響も抑えられると紹介しました。

現在の競技場を実際に見ると、いまの照明塔の高さが60m、その高さを10mも超える70mという高さの競技場の高さの2倍以上、総面積は4倍以上の構造物が、神宮の銀杏並木や絵画館の背景に巨大な構造物=競技場が出現します。そのため、『終の棲家』として暮らしたと思っている霞ヶ丘団地の住民を追い出し、防災拠点にもなる都民の広場の明治公園も潰すということになっています。

今回の都知事選挙で、宇都宮健児さんは、政府が削減した生活保護費を「私が都知事になったらその分を都が支援します」と、街頭で話されたことが生活保護受給者に希望を与えました。しかし、安倍自公政府は、4月分から昨年8月に続いて2回目の「生活保護費」を削減してきています。しかも厚労省は申請時の書類が揃わないと受け付けない、扶養の強要などの「生

活保護厳格化」の省令を出しましたが、国民の意見は1166件に上り、都生連は全国の1割に近いパブリックコメント(国民の声)を国に出しました。その結果省令案を撤回させることができました。成果を確認している「私の要求」が、550件以上寄せられています。5月27日妊産婦知事に対して「私の要求」で対都交渉を計画しています。「都生連事務局長・水上昭三

最大限活用がオリンピックの理念
臨海副都心を中心とする臨海部には、おおくの競技施設があつめられ、テニスの有明コロシアムを除き、すべての施設が新規に建設されることになりました。

この臨海部は地震の際の液化や津波被害の危険が指摘されており、会場としてカヌー(スラローム)会場に予定される葛西臨海公園(江戸川区)では、約四半世紀をかけて育った樹木が、池にはオタマジャクシやヤゴが集まり、そんな生きものを子どもたちが見つけ、新しい発見や驚き、感動できる貴重な自然が壊されてしまいます。隣接する場所には、水道局、建設局や港湾局が所管する広大な敷地があり、代替地として提案をしています。

生活保護厳格化を修正 国民の声行政動かす

既存の競技施設をできる限り最大限利用し、これを良好な状態に保ち、安全性を高めたうえで、これを確立し、環境への影響を弱める努力しなければならぬ。既存施設を修理しても使用できない場合に限り、新しくスポーツ施設を建造することができ、新規施設の建築および建築地所について(略)、地域にある制限事項に従わなければならない。また、まわりの自然や景観を損なうこととなく設計されなければならない。(オリンピックコムメント・アジェンダ21)

4月保育園に入れない!とママたちが小金井市役所に異議申し立て、保育園増設の署名を議会に提出、意図的に危険性が大きいのでと訴えると早急に対応するとの回答。翌日には補修された。他の場所のことでも口頭で伝えるとその場所も補修がされました。

身近な要求実現
新婦人―まわりの声を行政へ

「認可外に入れず、復職できる不安な毎日」を過ごしている「など切実な訴えに、待機児童の緊急救済措置や認可外保育への補助充実を求める陳情が採択されました。

4月保育園に入れない!とママたちが小金井市役所に異議申し立て、保育園増設の署名を議会に提出、意図的に危険性が大きいのでと訴えると早急に対応するとの回答。翌日には補修された。他の場所のことでも口頭で伝えるとその場所も補修がされました。

4月13日、私の住む多摩市で選挙が行われた。市長の阿部氏は、4年前市民が擁立し、民主・共産・生活者ネットが推薦して当選。脱原発の姿勢を表明、集団的自衛権の問題で「政府の統一見解を閣議決定で乗り越えるやり方には憂慮」と答弁、その政治姿勢は安倍政権のもと市民を代表するにふさわしいもの。4年間で保育所の定員493名増員、学校選択制の見直し、公契約条例の都内初の制定などの成果も。一方、財源不足を理由に公共施設の統廃合方針を決め、当該地域の住民と喧々諤々の市長とのやりとりが続いていた。市民が市政運営をどう評価するか問われた選挙だった。蓋を開けてみれば、対立候補に名乗りを上げたのは運動もまともにしない候補の二人。出陣の第一声に自民党から共産党の市議が並ぶ異例の展開に、候補を立てられなかった自民党は市議選の浮上を狙ったのか市長を応援。結果は、80.4%の得票で阿部氏が再選を果たした。市議補選は、自共の一騎打ちとなり、共産党の候補が41.6%の得票にまで迫ったが自民の元職の当選だった。財源不足と、ますます必要になる公的支援、自民党も加わった応援団の中で市民の運動の力が今後の市政を決めることをひきしめている。(1)

活用可能な駒沢競技場

入ることが必要です。この経費も開催計画には計上されておらず、液化化対策や用地購入に要する追加経費は巨額にのぼることも明らかです。

オリンピック・レガシーである駒沢競技場を活用すれば、このような経費は不要で済ませることができるのです。にもかかわらず、その利用をしりぞけ、莫大な資金を必要とする臨海副都心に施設をあつめた最大の理由。そこに見え隠れするのは破たんが明らかな臨海副都心の救済ではないでしょうか。

活用可能な駒沢競技場

活用可能な駒沢競技場

活用可能な駒沢競技場

活用可能な駒沢競技場

4月13日、私の住む多摩市で選挙が行われた。市長の阿部氏は、4年前市民が擁立し、民主・共産・生活者ネットが推薦して当選。脱原発の姿勢を表明、集団的自衛権の問題で「政府の統一見解を閣議決定で乗り越えるやり方には憂慮」と答弁、その政治姿勢は安倍政権のもと市民を代表するにふさわしいもの。4年間で保育所の定員493名増員、学校選択制の見直し、公契約条例の都内初の制定などの成果も。一方、財源不足を理由に公共施設の統廃合方針を決め、当該地域の住民と喧々諤々の市長とのやりとりが続いていた。市民が市政運営をどう評価するか問われた選挙だった。蓋を開けてみれば、対立候補に名乗りを上げたのは運動もまともにしない候補の二人。出陣の第一声に自民党から共産党の市議が並ぶ異例の展開に、候補を立てられなかった自民党は市議選の浮上を狙ったのか市長を応援。結果は、80.4%の得票で阿部氏が再選を果たした。市議補選は、自共の一騎打ちとなり、共産党の候補が41.6%の得票にまで迫ったが自民の元職の当選だった。財源不足と、ますます必要になる公的支援、自民党も加わった応援団の中で市民の運動の力が今後の市政を決めることをひきしめている。(1)

連載 2020年 東京オリンピックを 考える④

アベノミクス 第4の矢

「夢よもう一度」とでもいうのか。2020年の東京五輪開催を契機として、『土建国家』がよみがえろうとしている。(東京新聞 2013・9・12付)

東京都が2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催地に選定されてから8ヶ月。オリンピックは、アベノミクスの第4の矢に位置づけられ、オリンピックを礎にした開発の動きが加速度をまします。

IOCや都民に隠された巨額な経費も存在します。それは臨海開発救済のために、競技施設や選手村などを臨海部に集中させた結果、発生することとなる土地代金(臨海副都心開発事業会計に支払う購入代金や一時借使用料)であり、東京を民間に売り渡す選手村、既存施設の優先活用をした液化の対策費に他なりません。

無視して建設される新規会場など、その建設費は、総額4554億円(うち東京都負担1538億円)にのぼります。

くわえて、工費が高騰をうけており、これらをあわせれば、事業費が当初の算定額をはるかに上まわることが必至です。

息を吹き返す インフラ構想

さらに重大なことは、招致計画には盛り込まれていない交通インフラの構想が、次々と打ち上げられていることだ。



- ①地下鉄八号線(東京メトロ・有楽町線豊洲駅〜都営新宿線・住吉駅間。総事業費1260億円)
- ②蒲溝線・新空港線(東急・JR蒲田駅〜京急蒲田駅間。事業費1080億円)
- ③都心直結線(京成線押上駅〜京急線泉岳寺駅間。当初の東京駅立ち寄り方式から、大深度の直結方式に変更。事業費4000億円超)

④中央区新規地下鉄路線(都心〜臨海副都心間)

⑤JR新線(田町駅付近〜羽田空港。検討中)

⑥ゆりかもめ延伸(豊洲〜勝どき)

このうち、①の③は、国の運輸政策審議会(現交通政策審議会)の第18次答申に、「2015年までに整備着手することが適当」と位置づけられていたものですが、必要性の問題や建設費が巨額にのぼること、採算性の見通しが立たないことなどから、建設着手に至らず、答申の期限(2015年)をむかえようとしていたものです。

東京メトロ(株)は、「副都心線を最後として、今後整備論路線のおしつけ、な

都政転換 地域から ①

三多摩から舛添都政へ 都民要求実現を



窪田 一忠 革新都政をつくる会三多摩連絡会

昨年、革新都政の会を構成する唯一の政党である日本共産党が都議選で躍進監視し、都民要求を都政に



反映させる条件が強まっています。獲得した条例提案権の第1号は認可保育費用の用地取得を大きく促進する「用地費補助条例案」でした。9月議会では否決されましたが、都知事選を経て、広範な都民の声を押し進め、舛添知事が戸誘致などの公有地の活用を表明しました。都知事選をかんはった私たち都民と都議団の大きな成果です。

三多摩のもう一つの大きな問題は外環道の問題です。必要性が失われているにもかかわらず、巨大プロジェクトが動き出し、とんでもない環境破壊と無駄遣いに変更。事業費4000億円超

④中央区新規地下鉄路線(都心〜臨海副都心間)

⑤JR新線(田町駅付近〜羽田空港。検討中)

⑥ゆりかもめ延伸(豊洲〜勝どき)

このうち、①の③は、国の運輸政策審議会(現交通政策審議会)の第18次答申に、「2015年までに整備着手することが適当」と位置づけられていたものですが、必要性の問題や建設費が巨額にのぼること、採算性の見通しが立たないことなどから、建設着手に至らず、答申の期限(2015年)をむかえようとしていたものです。

東京メトロ(株)は、「副都心線を最後として、今後整備論路線のおしつけ、な

くらしと雇用・憲法・平和守れのとりくみ



【写真上】5月1日、安倍政権の暴走を許さず、大幅賃上げの実現や、労働法制改悪反対、消費税増税や環太平洋連携協定(TPP)参加反対、集団的自衛権の行使容認・憲法改悪反対などをかかげて、第85回メーデーが全国で開かれ、代々木公園で開催された中央メーデーには2万7000人が参加。集会後、都内3コートをデモ行進しました。【写真中】憲法記念日の5月3日、全国各地で憲法を守り生かそうと集会が取り組まれ、東京では、「5・3憲法集会2014」が日比谷公会堂で開かれ、3700人が参加。解散改悪で集団的自衛権の行使を狙う安倍内閣に対し、「戦争する国づくりの声を突きつけよう」との発言が相次ぎ、参加者は「殺し殺される戦争はいや」などのプラカードやのぼりを持って銀座パレードが行われました。【写真下】5月6日、被爆地・広島、長崎をめざして歩く「原水爆禁止国民平和大行進2014」(東京〜広島コース)が江東区夢の島から出発しました。出発集会には、800人以上が参加。核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれる被爆70年の15年に向け、「核兵器廃絶の世論を上げよう」との発言が相次ぎました。国民平和大行進は都内を行進しました。

「戦争する国」、ゴメンです。
九条の会 6・4東京のつどい
6月4日(水) なかのゼロ・大ホール
(JR中野駅南口下車5分)
参加費：999円(学生500円)
出演者：ざ・五人囃子
松元ヒロ(スタンダップコメディアン)
孫崎亨(元・外務省国際情報局長)
青井未帆(学習院大法務研究科教授)
(主催)九条の会東京のつどい実行委員会